

東京都市大学塩尻高等学校 2019年度 実施計画書 (抜粋)

I. 目指す学校

東京都市大学グループの一員として、各種連携を図りながら総合的な魅力ある学校づくりや教育活動に励み、生徒自らが成長し、自己実現を自覚できる教育を推進する。この実現のために東京都市大学塩尻高等学校のNEW VISIONとして次の3つを柱とする。

(1) Evolution -21世紀型の新しい学校-

- *新校舎を含めた学習環境整備
- *国公立大学や難関私立大学への進学実現
- *高いレベルでの「技能・技術」教育の実現
- *海外研修を含む国際力の育成

(2) Creation & Dignity -創造と品格-

- *新しい豊かさを創造し、社会を変革する担い手としての尊厳を持ち、行動力に富んだグローバルリーダーを育成する。

(3) i-access ~世界と知への道すじ~

i international & intelligence 国際教育

海外との交流活動を通じて語学力・コミュニケーション力を育成し、研究発表など高いレベルの国際力と知性を育む。

a attainment 学力の養成

国公立大学等の難関大学への受験学力を含め、グローバル化の中で世界で通用する高い学力を身につける。

c career キャリア教育

夢を実現し、自らの将来を見据えたキャリアデザインができる力を育む。

c club activity クラブ活動

野球、サッカー、女子バレーボールなど全国の舞台での活躍を誇りに、一人ひとりが清々しく凜とした精神と体力を育む。

e event 特別活動

多様な行事を通じて、友をつくり、支え合い、競い合う豊かな学校に学ぶ、誇りを人生のページに重ねる。

s skill 技能・技術

物事に対して主体的、協働的、創造的に取り組み、リーダーシップやプレゼンテーション能力などを育成する。

s satisfaction 学校生活の充実

一人ひとりの学校生活の充実を教職員全員で支える。

II. 2019年度の目標と方策 (抜粋)

『教育設計に関する分野』

<教育レベルの質向上>

(1) 新教育課程の編成

- 教育設計部内に「教育課程改革プロジェクト」をおき、新学習指導要領に対応する新教育課程表の作成。
 - *2019年度教育課程の運用・検証・教科内容のチェック、生徒面談の実施状況チェック、職員のクラブ活動の時間チェック
 - *トベルサ(土曜日活用システム)の運用と検証
 - *作成には大学新入試制度への対応を取り入れる。

(2) 教員研修の充実

- 特別選抜類型と文理進学類型それぞれの生徒学力にあわせた授業改善。シラバス・ロードマップの作成。

- 下記の項目で教職員研修（校内・校外）を実施。すべての専任教職員が最低 1 回は授業力スキルアップのための校外研修を行う。教科会研修の実施。
 - * 大学新入試制度研修、ICT活用研修（Classi 含む）、新教務システム研修、新学習指導要領研修、個人情報保護研修、授業アンケート研修
- 県総合教育センターや民間団体の研修を利用。
- 研修一覧を作成し、教職員への周知。本校に取り入れる内容を確認し、成果をチェック。
- (3) ICT教育の充実 新教務システムの導入
 - ICT活用について…全教員の研究授業
 - * 教育設計部内に「ICT教育推進プロジェクト」をおき、Classi とロイロノートの活用を推進。
 - 新教務システムの導入
 - * 全職員対象の研修会、使用規定の作成。

<教育環境の充実>

- (1) 心の悩みを持つ生徒への指導
 - 学年会主導での面談体制の継続
 - * 担任の生徒指導力向上…学年主任による担任の面談実施記録を確認。保護者との連絡記録確認。
 - * クラス運営と人間関係の把握に努める。LHR、ルッシュマンワークの内容を学年会と協力し作成。
 - * カウンセラー、外部機関との連携を積極的に行う。
- (2) 資格取得率の向上
 - 英語検定、GTEC、数学検定、漢字検定、語彙読解力検定等の集約を行い、学年及び職員に周知を行う。（全検定合格者のべ人数 243 名以上）
- (3) 生徒・保護者の満足度向上
 - 学校通信として、本校保護者に本校生徒の取り組みを発信。
 - 各種アンケート…集計後、各部署に集約した意見を提案、改善計画の立案とチェック
 - * 新入生アンケート、新入生保護者アンケート、卒業生アンケート、授業アンケート実施
 - * 地区 PTA、PTA 行事より意見の吸い上げ

『進路指導に関する分野』

<教育環境の充実>

- (1) 進学への取組
 - 進学実績目標（2020 年度）…国公立大学合格：25 名（内、信州大学 5 名）
 - 東京都市大学：18 名以上
 - 私立大学：100 名以上（内、GMARCH 以上 4 名、日東駒専 6 名）
 - センター試験受験数目標 130 名
 - 下記企画の実施

<ul style="list-style-type: none"> * 学習支援センター：利用しやすい環境に改善。 * Z 会講座：実力と進路志望で科目選択。 * 受験対策講座：受験レベルの応用講座。 * 進学講座：長期休業中の進学対策講座。 * 小論文指導：外部指導者を活用。 * 学生チューター：1・2 年生の学習サポート。 	<ul style="list-style-type: none"> * 予備校講座：3 学年に導入。 * 朝テスト(AD-T)：基礎力の定着。 * Step by Step 講座：1・2 年対象 * 学習合宿：長期休業中に実施。 * Classi 講座：スマホで受講可能な講座を紹介。
---	--
 - 国公立大合格戦略会議を実施。
 - 国公立大受験学力向上や、模試分析を通じた進路・出願指導を個別面談により手厚く指導。
 - センター試験受験対策：受験対応の特編授業を 10 月から実施。

- Classi：素早い情報伝達やアンケート調査の実施、ポートフォリオの蓄積のために活用。
- (2) キャリアセンターの充実とキャリア教育の完成
 - 就職内定率100%
 - *ヤングハローワーク松本・塩尻市・塩尻商工会議所との連携。就職支援員の設置など指導体制の充実及び目標に向かって学習できる体制の強化。進学した場合も、すべての卒業生に情報提供。
 - *キャリアセンターとして、進学・就職の体験的な学習機会（インターンシップ・体験学習・出張講義・出前授業など）を数多く計画。社会と生徒の接点を増やし、より満足度の高い進路実現を図る。

『生徒活動に関する分野』

<豊かな学園生活の構築>

- (1) 部活動の活性化と強化部の拡大
 - 目標：
 - 部活動加入率：全体で75%
 - 大会成績：全国大会3団体以上、北信越大会6団体以上、県大会9団体以上
 - 生徒活動部内に「部活動活性化プロジェクト」をおき、強化部（野球・サッカー・女子バレーボール部）の全国大会出場・上位成績を上げるための戦略を計画。
 - ニーズの多い部活動（吹奏楽など）に専門の外部指導者を招き、活性化を図る。
 - 「部活動の大切さ（生徒達の間力、対人関係力、基礎体力などの向上）」を粘り強く伝え、部活動への意識を向上させる。
- (2) 生徒会活動の活性化
 - 生徒会本部・各委員会で生徒が主体となる企画の運営
 - *生徒の主体的取り組みで達成感と誇りを育成。
 - ボランティア活動の推進
 - *地域ボランティア活動（公園や河川、通学路の清掃や植栽活動）に取り組み、地域から信頼される学校を目指す。*信州花フェスタ2019（長野県開催）に積極的参加。
- (3) 生徒指導の充実
 - 制服着用・整容指導
 - 挨拶の習慣化
 - 人権意識の向上 いじめアンケート調査を年3回(各学期)実施

『探究・国際に関する分野』

<教育レベルの質向上>

- (1) 探究コースの成功（探究活動の推進）
 - 「探究・国際部」を設置し、3年間の流れを検討（見直し）
 - *3年生：国公立の推薦に匹敵する内容の研究を行い、進路実現も兼ねる取り組みを行う。
 - ・研究集録の作成
 - ・研究内容の外部発信
 - ・研究内容と進路とのマッチング
 - *2年生：大学との密なる連携を行い、教育内容の具現化
 - *1年生：教育内容の向上
 - 具体的取り組み
 - *東京都市大学教授講演（5回）、哲学カフェ、西の子サマースクール、木曾路観光ボランティア、科学体験教室、塩尻市起業家育成プログラム、株式会社リバネス（実験教室・出前授業）、企業研修（食の大切さを知る）、観光ボランティア長野西高校との交流、県議会主体性を育む学び発表、信大プログラミング交流、留学生との交流、起業家カンファレンス、都市大にて研究発表会。
 - *学び未来パスの受験結果を面談に活用。

(2) 国際的に活躍できる人材の育成

○下記企画の継続と内容改善

*イングリッシュシャワー (25名目標)、イングリッシュキャンプ (20名目標)、フィリピン語学研修 (30名目標)、留学生との交流

○オンライン英会話の充実

○実用英語技能検定・GTEC等

*英検合格目標を3級 (30名)、準2級 (45名)、英検2級 (35名)

*新テストに向け4技能試験 (GTEC) の受験を実施。

*資格取得の学年目標を設定…特別選抜類型は1年に1回の義務付け。

1 学年 : CEFR1456 英検 3級 GTEC 689 2 学年 : CEFR1728 英検準2級 GTEC 959

3 学年 : CEFR1980 英検 2級 GTEC 1189

○国際教育推進のためのさまざまな施策

*海外協定校との交流活動の推進。(中国上海市甘泉外国語学校、フィリピン CPU 附属高校)

*カナダとの協定校提携を検討。

*海外大学 (フィリピンのエンデラン大学) の指定校推薦。海外大学への進学指導の研究。

*留学生の受け入れ…AFS やライオンズクラブなどを通して留学生受入。